



TKT : www.cambridgeenglish.org/jp/teaching-english/teaching-qualifications/ をご覧ください

手順 1

受験される方ご自身または団体の代表者が、ケンブリッジ大学英語検定機構まで E-mail で必要事項をご連絡下さい

E-mail 宛先 : InfoJapan@cambridgeenglishreps.org

必要事項 :

- | | | |
|--------------|----------------|---------------------------|
| 1. 氏名 (漢字) | 5. E-mail アドレス | 9. 団体の場合、受験人数 |
| 2. 氏名 (ローマ字) | 6. 受験検定名 | 10. 検定料助成制度識別コード |
| 3. 学校名 | 7. 受験希望センター・会場 | 2020年度用のコードを記載願います |
| 4. 電話番号 | 8. 受験希望日 | |

※専用ウェブサイト (www.cambridgeenglish.org/jp/mext/) よりご確認ください



手順 2

(ケンブリッジ大学英語検定機構より連絡を受けた) 以下のリストにあるご希望の試験センターより、お申込みに際しより詳しいご案内を差し上げます。また、試験センターより検定料の振込方法をお知らせしますので、各センターの案内にそってお支払願います。

特別価格*で提供する英語教授資格 (TKT) センター	ウェブサイト
●JP172 英会話イングリッシュ・プリーズ! ●JP026 学校法人 河合塾 ●JP029 (株) Z会ソリューションズ ●JP002 レクシスジャパン ●JP176 西日本試験センター	www.english-please.com/tkt/ www.kawai-juku.ac.jp/cambridge-english/tkt.html www.zkai.co.jp/assess/ www.lexisenglish.co.jp/cambridgecentre.jp/

更新情報は上記専用ウェブサイトにて連絡いたします。どうぞご確認ください



試験センターから申込完了のご連絡が送付されます

※最少催行人数の規定等で試験によっては催行が見送られる場合もありますので、あらかじめご承知おき下さい。



英語教授知識認定テスト (TKT: Teaching Knowledge Test)

— 英語教授法に関する知識を測定する国際標準の認定テスト —

基本 モジュール	モジュール1	言語と言語学習・言語教授に関する知識と背景	80分 80問	マーク式
	モジュール2	授業プランと教材の活用法	80分 80問	マーク式
	モジュール3	指導プロセスと学習プロセスの管理	80分 80問	マーク式
専門 モジュール	TKT: CLIL	Content and Language Integrated Learning 内容言語統合型学習	80分 80問	マーク式
	TKT: YL	Young Learners 教える対象が年少者である場合	80分 80問	マーク式
歴史	世界的なニーズにより開発され、2005年スタート			
取得メリット	世界各国では英語教師としての採用時の最低条件とされることが多い。世界標準資格			
作成意図	すべての英語教師に求められる基礎的な知識に焦点を当て、国際的な基準に従って作成			
テスト結果	合格・不合格ではなく、各モジュールの成績がBand 1 (limited: 限られた知識) ~ Band 4 (extensive: 広範囲な知識) で表される			
受験対象者	英語が母語でない人、および英語ネイティブスピーカー			
必要とされる英語力	CEFR (Common European Framework of Reference for Languages) でB1レベル相当以上			

※詳細は専用ウェブサイト www.cambridgeenglish.org/jp/mext/ よりご確認ください

※ニーズやスケジュールに合わせて、1モジュールずつ受験することや、複数を組み合わせて同日に受験することが可能です。



※CELT-S (Certificate in English Language Teaching – Secondary)については2018年度より助成制度対象になりました